

[成果情報名] 食味良好な中晩生カンキツ新品種「静姫」(しずひめ)の育成

[要 約] カンキツ新品種「静姫」は育成系統「清見×クレメンティン」に育成系統「大谷伊予柑×マーコット」を交雑して育成した中晩生カンキツである。3月上中旬に可食適期となり、糖度が高く、食味に優れる。

[キーワード] カンキツ、新品種、中晩生、高糖度、良食味

[担 当] 静岡農林技研・果樹研セ・栽培育種科

[連絡先] 電話 054-376-6153、電子メール kaju-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 果樹

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

静岡県内の柑橘生産においては、「青島温州」を補完するオリジナル品種の開発が求められている。そこで、端境期出荷が可能な品種や外観、果皮色等の形質に特徴のある高品質な品種を育成し、新しい地域ブランドの開発につなげる。

[成果の内容・特徴]

- 1 「静姫」は、S1128（「清見」×「クレメンティン」）に、S1144（「大谷伊予柑」×「マーコット」）を交配して得られた交雑実生で、1996年にほ場に定植し、2000年に一次選抜され、2005年に外観や果実品質等が優れた中晩生カンキツ「S1184」として二次選抜された。2014年9月10日に「静姫」として品種登録を出願し、2016年8月9日付けで品種登録された（品種登録番号：第25353号）。
- 2 果実の外観は、果形は扁球で果梗部に短いネックがあり、果面は滑らかである（図1）。果皮は鮮やかな濃橙色で、果皮歩合は低い（表1）。また、果皮にはクレメンティン由来と考えられる独特な香りがある。
- 3 果実品質は、3月上旬で概ね糖度15度、クエン酸含量1%となり、糖酸比が高い（表1）。
- 4 果実の食味は優れ、その可食適期は、糖度とクエン酸含量の経時変化の結果から3月上中旬であると考えられる（図2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 苗木の生産及び苗木の配布先は県内生産者を対象とする。
- 2 周辺における種々のカンキツの花粉の影響により種子数が増える可能性があるため、植栽場所に留意する。

[具体的データ]



図1 「静姫」の果実

表1 「静姫」の果実特性^z (2014年3月3日)

品種名	果実重 (g)	果皮歩合 (%)	果皮厚 (mm)	糖度 (Brix %)	クエン酸含量 (%)	糖酸比	果皮色 ^y	果形指数	種子数 (個)
静姫	216	16.9	2.28	15.6	1.28	12.2	9.6	116	17.2
清見	246	26.4	4.37	10.2	1.48	6.9	7.2	116	4.3
不知火	241	23.0	3.22	14.8	1.82	8.1	6.9	103	1.4
マーコット	179	13.9	1.96	15.2	1.70	8.9	10.3	128	17.0

z : 10果の平均値

y : 農林水産省果樹試験場基準果実カラーチャート (オレンジ色系)

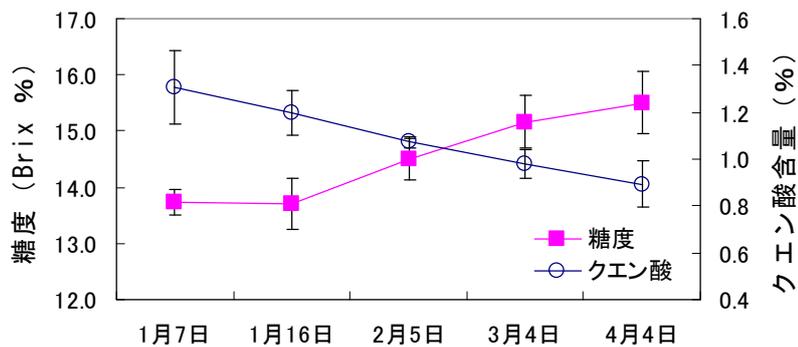


図2 ‘静姫’の栽培期間中における糖度およびクエン酸含量の経時変化 (2013年1月～4月)

データは樹あたり5果3反復の平均値であり、図中のバーは標準偏差を表す。

[その他]

研究課題名：果樹新品種の育成と適応性検定

予算区分：県単

研究期間：2011～2015年度

研究担当者：中村茂和、永嶋友香、小林康志、寺岡毅、渡村加奈子

発表論文等：渡村加奈子ら (2016) 中晩生カンキツ新品種‘静姫’の育成とその特性、静岡県農林技術研究所研究報告第9号